

多様な会員が 集まるクラブに



会員の「多様性」で重要なのは、単にさまざまな会員を集めるだけでなく、それらの会員が協力して活動することです。

「多様性」は、ロータリーの中核的価値観のひとつであり、クラブの革新と発展を促す重要な要素です。男女と年齢のバランス、さまざまなスキルや経験など、会員基盤が多様であればあるほど、地元や世界の問題とその解決策を幅広い角度からとらえ、より効果的に活動できるようになります。違いを受け入れ、尊重する文化をクラブで築くことも大切です。

多様性調査の目的

- 地元人口の多様性を認識する。
- 多様な会員基盤を築くことの重要性を理解する。
- 地元の人口や専門職業の実態をクラブに反映させる。

準備

例会で時間を割き、「会員多様性調査」の各ステップを実施します。この調査は、多様性の大切さを十分に理解し、それを会員に説明できる人（会員増強委員長、会長など）が進行することをお勧めします。この分野の専門家を例会に招いて講演してもらうのも一案です。会員基盤の多様化の促進には、全会員の協力が必要です。



各ステップに1週間以上かかる場合もあります。あらかじめ十分な時間を見積もっておきましょう。

はじめよう

ステップ1: 多様な会員基盤をもつことのメリットを検討

多様な会員が集まることの利点について話し合います（活動の成功事例など、過去の実例があればそれを思い出してみましょう）。次に、性別、年齢、職業など、現在の会員構成を見直し、会員の多様化に関するクラブの目標を立てます。

ステップ2: 情報を収集

ステップ1で検討したこと（会員多様化のメリットと目標）を再確認します。

「会員多様性に関するワークシート」を会員に配布し、3つのグループに分かれて以下の情報を収集します。次回の例会までにワークシートに記入してもらいます。

- **グループ1:** 商工会議所などの地元団体から、地元が存在する業種や職業の情報を入手する
- **グループ2:** 地元の開発振興課や経済開発専門家から、地元経済に関する統計を入手する
- **グループ3:** 地元住民の年齢、性別など、最新の国勢調査の結果を入手する

ステップ3: 収集した情報を分析

グループごとに集めた情報を分析してまとめ、次回の例会で結果を発表する人を一人選びます。

ステップ4: 各グループがまとめた情報を例会で報告／結果を検討

例会で各グループが5分ほどで結果を発表し、その内容を基に以下の点について全体討論を行います。

- クラブは地元の職業人の年齢構成を反映しているか
- クラブは地元の職業人の男女の比率を反映しているか
- クラブは地元が存在する職業や業種を反映しているか

そのほかの調査・アンケート

「職業分類調査」で地元の職業を反映したクラブに

「会員候補者情報の収集」で入会候補者さがしを

「会員維持調査・分析」で会員維持力アップ

「会員満足度アンケート」で会員の満足度アップ

「退会者アンケート」で退会の理由を理解



会員多様性に関する ワークシート

1. どの情報源を使って地元の人口構成を調べましたか。

2. 以下の点で、地元の職業人の人口構成はどのようなものですか。

年齢：

性別：

3. クラブの現在の会員基盤は、地元の人口構成（性別、年齢など）を反映していますか。または、どのように
違っていますか。

4. 調査の結果から分かった事実や統計のうち、最も興味深い点は何ですか。

5. 予想と違っていたことは何ですか。

6. 予想と一致していたことは何ですか。

7. 地域の人口構成と比較した場合、クラブにどのような人が不足していますか。

8. 地元の現役職業人の構成をクラブに反映させるには、どうしたらよいでしょうか。

9. クラブの会員増強行動計画に、これらの調査結果をどのように盛りこむことができますか。